

FD(教育技能)研修会・意見交換会を開催しました

2014年2月6日

1月23日(木)瀬田アーバンホテルにおいて「地域里親学生支援事業」の一環である「FD研修会・意見交換会」を開催しました。

今回の研修会では、里親学生支援室員で解剖学講座の相見良成准教授から、昨年6月28日に滋賀医科大学内に開設された「開放型基礎医学教育センター『SUMSメディカルミュージアム』について」と題して、講演いただきました。

講演では、これまで学生の講義のために所有していた多くの基礎医学教育資源を集中管理するとともに、滋賀県内の小中高生への出前授業・高大連携授業や医療機関の学生の教育はもとより、地域の方々にも利用してもらえるように広く社会に公開している旨のお話がありました。

つづいて里親学生支援室長で、社会医学講座の埜田和史准教授から、今春初めて里親学生支援事業として医学科の学生を社会に送り出すことになり、今後、益々この事業の真価を発揮していきたい旨の挨拶がありました。

その後は、和やかな雰囲気の中、出席者の自己紹介などを含め意見交換や懇談が行われました。

学生たちからは、「地域里親学生支援事業は、人と人のつながりを大切にする将来役立つ内容なので、これからも積極的に参加していきたい」などの感想や、また、里親の先生からは、「日々の仕事では、主に患者さんとの関わりしかないが、このような事業に参加することで、後輩学生との交流をしたい」などの意見が聞かれました。

お忙しい中、ご出席いただきました皆様、ありがとうございました。

